

## バードフライトスパイク®設置要領

対象害鳥： 鳩及びそれより大型の鳥(すずめは対象外です。)

推奨バードプレッシャー： 中程度から高度

### サイズ

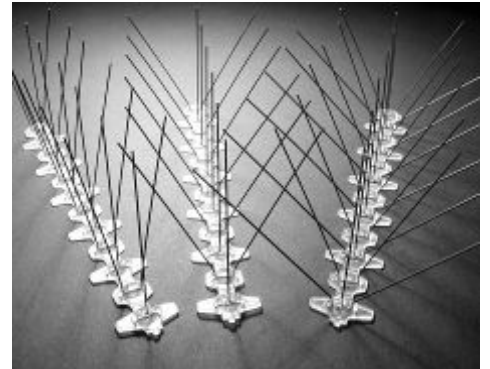
長さ L=30.5cm

高さ H=11.5cm

幅 (スリム) W = 6cm

(ワイド) W = 11.5cm

(エクストラワイド) W = 20cm



バードフライトスパイク

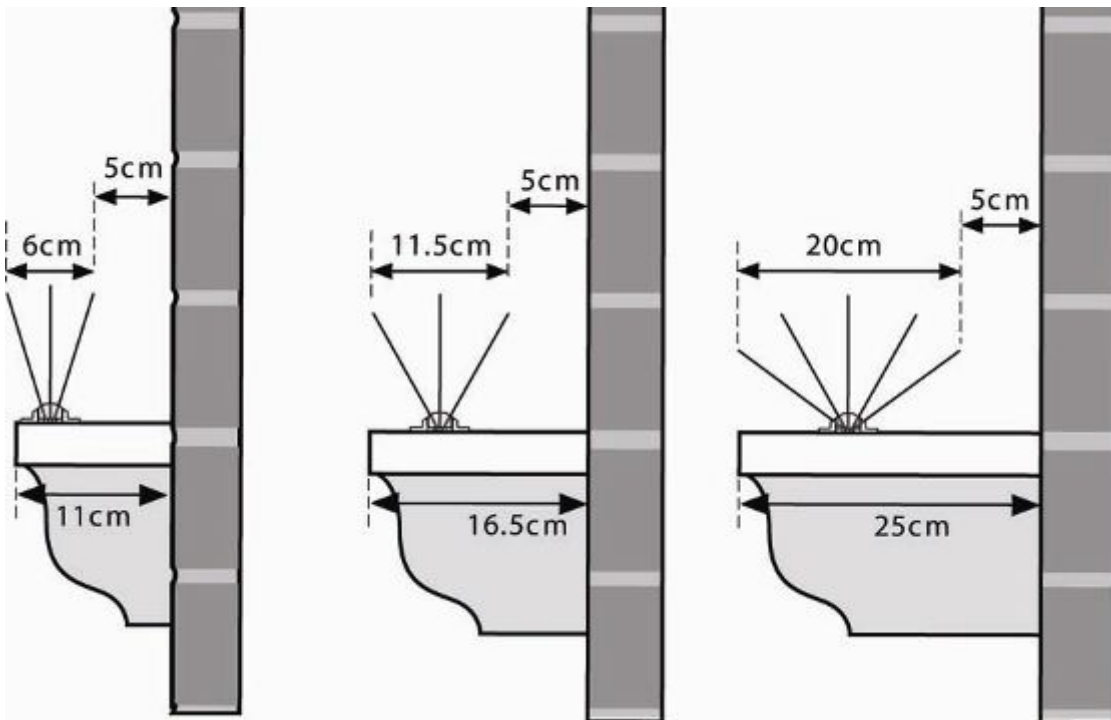
(スリム) W = 6cm

バードフライトスパイク

(ワイド) W = 11.5cm

バードフライトスパイク

(エクストラワイド) W = 20cm



バードフライトスパイクは最も設置が容易かつ安価なステンレスのスパイクの鳥害防除製品です。このスパイクは凶暴な鳩やカラスを追い払うには十分な強度を保ち且つ、人の目には実質的に見えないように出来ています。

## バードフライトスパイク®の設置

バードフライトスパイクの本体の長さは約 30cm 強です。スリム、ワイド、エクストラワイドの 3 種類の幅の製品があります。幅はそれぞれ 6cm、11.5cm、20cm です。それぞれ、最も耐食性が必要とされる箇所に使用される 316 ステンレスのスパイクが柔軟なポリカーボの基盤に付けられています。

バルクの荷姿はスリムとワイドは 25 本の束が 4 束で合計 100 本、エクストラワイドは 25 本の束が 2 束で合計 50 本です。

バードフライトスパイクは棚状の場所やパイプ、梁に好適な製品ですが、設置の際の 2 大注意点は次の通りです。

- バードフライトスパイクの適切な配置
- 製品の取り付け

### 適切な配置

横の間隔: バードフライトスパイクは平行して設置する際や、壁際に設置する際は隙間を空けても防除可能である事が特長です。図のようにスパイクの先端と先端、或いは、スパイクの先端と壁の間は 5cm までなら離しても鳩かそれ以上の大型の対象害鳥を防除する事が出来ます。

せり出し: スパイクの先端は 2.5cm 程、棚状の部分から外側にせり出すことを推奨しています。図はせり出しをしていない場合の寸法値です。

### せり出しを考慮した配置例:

- ワイド(幅 11.5cm)は壁を背にした片面の棚状の場合は幅 14cm の場所を防除できます。  
( $11.5\text{cm} + 5\text{cm} - 2.5\text{cm} = 14\text{cm}$ )
- 30cm の壁を背にした片面の棚状の場所はワイド(幅 11.5cm)を 2 列並べます。  
( $5\text{cm} + 11.5\text{cm} + 5\text{cm} + 11.5\text{cm} - 30\text{cm} = 3\text{cm}$ ) この場合は前面へのスパイクのせり出しは 3cm となります。

### 取り付け

バードフライトスパイクは設置面に接着 或はネジ止めで取り付けます。(ネジ止めを推奨)

### 接着剤による設置

バードフライトスパイクの梱包を解きポリカーボネイトの反りを直してください。

30cm あたり 2~5 箇所に接着剤(1 本当たり 20g 前後)を付けます。設置場所に押し付け、接着剤が脇から出たり、ネジ穴から盛上がってくるようにします。設置しようとする対象物が接着剤に対して適しているかを事前に調査しておく必要があります。接着面のケレン、面粗し等が必要になる場合があります。(ビスによる施工を推奨いたします。)

### ネジ止め

ネジは 1 本(30cm)あたり 3 箇所か或いは 2 箇所止めます。全部の穴に止める必要はありません。コードレスドライバを使用する際は回しすぎによるポリカーボ部分の破損に気をつけて下さい。